

ソラマメの栽培について

ソラマメは漢字では「蚕豆」です。ソラマメは熟してくると莢が下を向いてきますが、小さいときには空を向いていることから、空豆と呼ばれるようになりました。このソラマメは新鮮さが勝負ですから、家庭菜園ならではの味が楽しめる野菜です。低温にあわないと開花しないので、中間地や暖地では秋にタネをまきますが、寒冷地では寒さで苗が枯れてしまうため春まきにしましょう。

栽培カレンダー

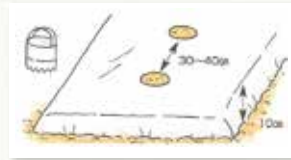
月旬	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
作業	種蒔き				追肥			収穫	

1. 連作を避けて土づくり

- ①タネまき2週間前
・苦土石灰を1㎡当たり150gまき、深さ30cmくらいまでよく耕す。
- ②タネまき1週間前
・1㎡当たり堆肥3kgと化成肥料50gをまいて、土とよく混ぜる。幅100cm、高さ10cmほどの畝を作り、マルチを張る。

2. タネはお齒黒を下にしてまく

- ①タネは1条まきにする。マルチに30～40cm間隔に市販のマルチ穴あけ器やカッターナイフで穴をあける。
- ②タネはお齒黒を斜め下に向けてまく。1カ所に2粒まき、1cm程度の土で覆い軽く手で押さえる。横向きに平たく置いてよい。
- ③乾燥と虫害、鳥害を防ぐため不織布をベタ掛けし、その上からたっぷり水をかける。
- ④間引かないで2本伸ばしてもよいが、株間や畝幅が狭いときには本場3枚の頃、1カ所1本に間引く。



3. 防寒する

- ①間引き後、寒さが厳しくなる11～12月頃に、笹などを北側と西側に立てて、防寒・防霜・防風する。
- ②防虫ネットのトンネルは、株の先端がつかえたら外す。

4. 支柱で支えて倒伏を防ぐ

- ①2月中旬頃、草丈20～30cmになったら、1㎡当たり30gの化成肥料を追肥する。
- ②株が倒れるのを防ぐため、周囲に棒を立ててひもで囲う。
- ③草丈40～50cmになったら、貧弱な茎や込みすぎた部分の茎を間引き、太い茎を6～7本残す。
- ④茎が70cmほどになったら、すべての茎の先端を摘みとる。(摘心)



5. 莢が垂れたら収穫

莢が下に垂れ、背筋が黒褐色になったら収穫する。



ソラマメ

私をご紹介します！



東部営農センター
高橋 蓮
(営農指導担当)

